



(1) 今年度の主な取組みの進捗状況

新規

- 「ユニバーサル都市・福岡PRサポーター」による普及啓発【総務企画局】
「ユニバーサル都市・福岡」のことをより多くの市民に知っていただくために、男女5人組ダンス&ボーカルグループ「バリカタキッズ」をPRサポーターに任命
- R3.11 ユニバーサルデザインに関する事前授業を実施
(協力：九州大学大学院芸術工学研究院 張先生)



- R3.12 ユニバーサル都市・福岡PRサポーター任命式開催

- R3.12～
市内の様々なユニバーサルデザインのある場所等を取材してもらい、その様子をSNS (Youtube、Instagram) やジオターゲティング広告※等、各世代に合わせた様々な広報媒体を活用して市民に発信

ジオターゲティング広告※：スマートフォンの位置情報をもとに、現在地に特化した広告や情報を発信するサービス

<取材場所>

- ・おさるのベンチプロジェクト
- ・福岡市総合体育館
- ・福岡市地下鉄
- ・福岡市観光案内所
- ・天神ビジネスセンター
- ・舞鶴公園 (インクルーシブな遊び場づくり実証実験)

	世代	広報媒体
課題層	小・中学生	ジオターゲティング広告、YouTube
	高校・大学生 ～20歳代	ジオターゲティング広告、YouTube、Instagram、Facebook
	30～40歳代	ジオターゲティング広告、YouTube、リトルママ(メルマガ配信)、Facebook
	60歳代以上	読売新聞(新聞広告) ぐらんざ(シニア向けフリーペーパー) バス車内広告

- 「インクルーシブな遊び場づくり」実証実験実施【住宅都市局】
- 「福岡オレンジパートナーズ」と「オレンジ人材バンク」の設立【保健福祉局】
ともにR3.6設立
- 重度障がい者等就労支援事業【保健福祉局】 R3.10開始
- 全区役所に「ご遺族サポート窓口」の開設【市民局】【各区役所】
R3.5～ 全区で開設
- 遠隔手話通訳サービスの開始【保健福祉局】 R3.7開設
- 外国人支援ボランティアバンク【総務企画局】 R3.4開設

継続

- 福岡版ユニバーサルマナー検定(講座)の実施【総務企画局】

- ・高齢者や障がい者への接し方等について、市内の身近なユニバーサルデザインの事例を取り入れた福岡市オリジナルの講座を、全国を対象にオンラインで実施 (ユニバーサルマナー検定3級取得)

- 第1回 8/28実施：申込者105名→受講者84名
- 第2回 9/25実施：申込者 82名→受講者64名
- 第3回 10/30実施：申込者 53名→受講者47名
- 第4回 11/17実施：申込者 37名→受講者26名



アンケート集計中

※精査中

申込者 計277名、受講者 計221名

- Instagram等を活用したユニバーサルデザインに関する情報発信【総務企画局】

- ・様々な立場の方から見える「福岡」の写真をInstagramに投稿してもらう
“写真展”を開催 (各人7～8投稿)

- 1人目：外国人 12/13～28
- 2人目：LGBT 1/7～31 (予定)
- 3人目：子育て世代 2/1～28 (予定)
- 4人目：バリアフリー 3/1～31 (予定)



(2) ユニバーサル都市・福岡 児童向け副読本の改訂について

方向性：R6年度からの使用に向けて副読本の全面改訂を実施

R4～5年度：改訂委員会を開催し、丁寧に意見を伺いながら、全面改訂を進めていく。

- 委員候補(案)：①小学校教諭(生活総合研究委員会)
②ユニバーサル都市・福岡推進協議会
③障がい当事者

<参考> 市内小学校へのアンケート結果 (R3.10～11)

- 対象：市内小学校 ○回答率：144/144校 (100%)
- ・副読本の活用の有無 活用:138校 (95.8%)
- ・副読本の改訂に向けて
ページ量：もっと少ない方がいい 3校、ちょうどいい 129校、もっと多い方がいい 6校
情報量：もっと少ない方がいい 3校、ちょうどいい 117校、もっと多い方がいい 18校
改善点：紙媒体より電子媒体の方がいい (5校)、最新情報が入るといい 等